

《国宝の金印》は、江戸時代の天明四年(1784年)に、福岡市の志賀島から発見されました。この金印は、一辺の長さが2.3センチメートル、高さが2.2センチメートル、重さが108.7グラムの大きさで、ほぼ純金でつくられています。印面には、「漢委奴國王」の5文字が彫られています。

金印の発見者は…？

福岡藩の記録には、はっきりと「百姓 甚兵衛」と書かれています。ところが不思議な事に、当時の島民名簿には甚兵衛の名前はありません。当時のお寺の記録には、この金印発掘の事が記載されていて、そこには、発見したのは「百姓の秀治と喜平」だと記されているのです。

つまり、イトが思うには…百姓の秀治さんと喜平さんが畑で金印を発見し、それを届け出たのが甚兵衛さんだったって訳じゃないかな？金印だけ出て来たっていうのも、なんだか不思議な話なんだけれどね…

みんなは、どう思うかな？

わたし す いとしま むかし く し
私たちの住む糸島の昔の暮らしを知りたい

伊都国マン

第6回 ●金印エピソード
画・上角智子

金印については、さまざまな「謎」があり、現在も色々な人々により謎解きが行われているのよ。

さあ！一緒にその発掘エピソードから、探ってみましょう。

金印発掘エピソード

金印って、初めて見たけど、思ってたよりちっちゃいのね。

金印のエピソードは、面白いものが多いけど、謎だらけなんだよ。

福岡市博物館に金印が展示してあるんだよ。(持っているのは原寸大の模型)

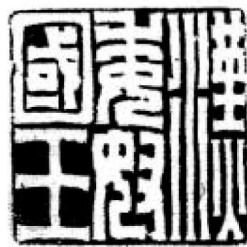
やっぱりババは
伊都国王へ贈ると
書いてあるんだと
思うんだけどな
ママは
どう
思うの？

ん～私は、
志賀島から出てるし
教科書でも
「漢の倭の
女王の国王」と
習ったし
それがなあ

僕は違うねえ～
贈られたのは伊都国で
きつとさ
誰かの
手により
運ばれて
いったと
思うよ。

うんうん
イトは、
伊都国王と倭国王に
贈られたがも
しれないと
思ったよ。

最後のミステリー 文字の読み方は？



金印の「印字」
についても
色々な説がある
のよ。



印面には、「漢委奴国王」の5文字が彫られていて、
通常「漢の倭の女王の国王」と読みますが、
皆さんはどう読みますか？
強大な漢帝国が倭の一小国に金印を贈るでしょうか？
そう考えると色々な説が浮かんで来ますね。
少し難しいけど、みんなも文字について考えて「謎解き」してみよう！

金印はいったい
だれへの贈り物
だったと思うかな
う～ん
難しいね
お父さんは
どうなの

さあ、みんなも
金印の「謎」について
話しあってみようね

福岡藩の儒学者亀井南
冥は、印文の「委奴国」
を「ヤマトノクニ」と読
みましたが、読み方に
は諸説あって
「委奴国」=「伊都国」と
する説もありました。
明治31年に三宅米吉
の論文が出て以来、「カ
ンノワノナノコクオウ」
という読み方が定着し
て現在にいたります。

志賀島で発見された理由



志賀島と伊都国は海を挟んで直線で約10キロ
くらいの近さなんだよ。
この距離も謎のキーワードのひとつになっているんだ。



金印がどのようなわけで志賀島の南西海岸に埋も
れていたかということについては、いろいろな学説
があります。みんなは、どれが正解だと思うかなあ～。
もしかしたら、新しい説が出てくるかも？

おうきゅう せつ
王宮説
志賀島には王様が居てその王宮だった跡
で、たまたま発見されたという王宮跡説。

ふん ぼ せつ
墳墓説
志賀島に倭国王のお墓があって、それで、
金印が発見されたという、倭国王のお墓説。

いん たく せつ
隠匿説
日本中が戦いで荒れていて、1番大切な
お宝を安全な志賀島に、隠した…という
隠匿説。

い き せつ
遺棄説
日本を漢の属国扱いにした不届きな印は
棄ててしまえ～という訳で海に棄てたの
だという遺棄説。

どうして志賀島で発見
されたのがは今も
わからないままなのよ。
今までの説を参考に
みんなで謎に
迫ってみよう！

さあ、みんなのナゼナゼが
金印の発見の謎に迫って
みよう！

捨ててるなんて
ナイナイ
もったいないよ！
隠匿説があ
んとなく…
ソッぽい気が
僕はするなあ。